

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

新型コロナウイルス感染者を記者会見で発表する首長、自ら先頭で取り組む姿勢だが、首長が発表する事で費やされる関係職員の過

大な労力が気になってしまう。経験した事のない問題が生じた場合に、専門的な知識ある職員の一瞬も早い対応が必要だ。今回の事態で、日本の統治能力がいかにもろく、日本は本当にダメな国になってしまった」と思い知らされた。

石川県知事が外出自粛の東京都民に観光アピールしたが、地元の困惑は増すばかりだ。むしろ大分県別府市長が新型コロナウイルス感染症でキャンセルが相次ぐ別府温泉施設を盛り上げようと、今年の夏(ごろ)までに自腹で計20泊、「別府エール

泊」と名づけ、市幹部や友人に声がけ、延べ1000泊すると地域にメッセージを発信した。具体的な意思を示した地域リーダーに拍手を送りたい。

新型コロナウイルス感染症対策で、自宅待

でも、家に帰ると無口になってしまふ夫に、妻のストレスがたまると講演会で紹介した。正式な病名ではないが、夫源病と言われ、読ん

で字のごとく夫が原因で妻の頭痛やめまい、不眠などのストレス症

は欠かしてはいけな。調味料の「さしすせそ」は味付けの順番を覚える語呂合わせ。「さ」は、味がしみにくいので早めに入れる砂糖。「し」は塩。「す」は酢。「せ」は醤油。「そ」は味噌。は良く知られてい

るが東京新聞のコラム筆洗さんは

社会が困難に直面する時ほど家庭を大切に

知られてい

機が在宅勤務が続いている。「妻の病気の9割は夫がつくる」の著者の石蔵文信さんは、男性は6000語、女性性は2万語。1日に話せばストレスを発散させることができる。外

では愛想がよく社交的

家庭を大切にすると夫



3月下旬の大雪で倒木が多発。積み重なる課題の今後が気がかりだ

「さしすせそ」を紹介。体調管理には、充分気を付けたいものだ。今回の暖冬に感染症が追い打ちし、西日本最大級の瑞穂ハイランドスキー場が自己破産

の準備に入ったとの情報。他人事でない課題に地域全体の取り組みの必要性を強く感じた。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)